

問い合わせ先

海上保安庁海洋情報部 技術・国際課
課長補佐 松本 良浩
電話03-3541-3813



平成23年9月15日
海上保安庁

日本海南西部における放射能調査の 日韓共同実施について

海上保安庁は、例年実施している日本海南西部における放射能調査を、韓国と共同で9月15日から22日まで実施します。

- 1．海上保安庁は、従前より、日本周辺海域において放射能調査及び汚染調査を実施し、我が国の海洋環境の監視に努めているところです。
- 2．旧ソ連・ロシアの日本海における放射性廃棄物投棄の事実を受けて、平成6年以降毎年、日本海において放射能調査を実施し、放射能の影響の経年的な監視を行っています。
- 3．平成18年以降韓国と共同で実施してきた日本海南西部における放射能調査は、本年も実施することとなりました。なお、昨年の結果については、全調査測点において、特段の異常は見られませんでした。
- 4．調査の具体的な内容は別添のとおりです。

日本海南西部放射能調査の日韓共同実施の具体的内容

- 観測地点：(1) 北緯39度00分、東経135度18分付近
(2) 北緯36度35分、東経131度30分付近
(3) 北緯38度00分、東経132度00分付近
(4) 北緯38度00分、東経135度00分付近
(5) 北緯36度57分、東経133度50分付近
(6) 北緯38度43分、東経132度56分付近

調査日程：平成23年9月15日～22日（気象条件等により延長する場合があります。）

なお、10月に韓国側船舶を利用した同じ海域での調査を予定している。

使用船舶：海上保安庁測量船「海洋」 550トン

（出港地：門司港）

調査項目：表面、中層及び海底付近の採水並びに海底土の採泥。

その他：使用船舶には他方の国の調査員が同乗する。